

# 建築学コース

・授業科目分類表	.....	1
・教育課程(授業内容)	.....	2
・卒業要件	.....	9
・GE 科目リスト	.....	10

別表(第5条関係)

## 建築学コース

## 1. 提供科目

## ①授業科目分類表

※工学融合科目について、自コースが提供している科目を履修登録することはできない。

分類	科目番号	授業科目名	単位数	必修	分類	科目番号	授業科目名	単位数	必修
工学 共通 科目	工共100	工学基礎演習	2		コース 専門 科目	建築104	確率及び統計	2	
	工共111	工業数学Ⅰ	2	○		建築110	建築デザイン基礎	2	○
	工共112	工業数学Ⅱ	2	○		建築120	住空間計画学	2	○
	工共118	基礎数学Ⅰ	1			建築150	建築構造力学Ⅰ	3	○
	工共119	基礎数学Ⅱ	1			建築151	建築構造力学Ⅱ	3	○
	工共120	情報リテラシー	1	○		建築200	測量学	2	
	工共121	プログラミング基礎	2	○		建築202	フィールドセミナーⅠ	1	
	工共122	データサイエンス基礎	2	○		建築203	フィールドセミナーⅡ	1	
	工共150	工学概論	2			建築211	建築設計製図Ⅰ	3	○
	工共211	工業数学Ⅲ	2			建築212	建築史概論	2	○
	工共212	工業数学Ⅳ	2			建築213	建築設計製図Ⅱ	3	○
	工共221	プログラミング応用	2			建築215	建築計画	2	○
	工共222	データサイエンス応用	2			建築220	都市計画	2	○
	工共300	技術者の倫理	2			建築230	建築環境工学Ⅰ	2	○
	工共301	キャリアデザイン	2			建築240	建築材料学	2	○
	工共302	エンジニアリングデザイン演習	2	○		建築242	環境材料学	2	○
	工共323	技術英語基礎	2			建築251	構造設計Ⅰ	2	○
	工共324	技術英語応用	2			建築260	防災工学概論	2	○
	工共325	機械学習	2			建築300	建築生産	2	○
	工共330	地域課題解決実践演習	2			建築301	建築法規	2	○
	工共331	産業社会学原論Ⅰ	2			建築310	建築意匠	2	
	工共332	産業社会学原論Ⅱ	2			建築311	建築設計製図Ⅲ	3	
	工共334	国際協力論	2			建築312	現代建築思潮	2	
	工共335	知的財産権	2			建築313	建築設計製図Ⅳ	3	
	工共336	品質管理	2			建築320	居住地計画	2	
	工共337	経営工学概論	2			建築321	都市デザイン演習	2	
	工共338	インターンシップⅠ	1			建築322	都市および地方計画	2	
	工共339	インターンシップⅡ	1			建築330	建築設備計画	2	○
	工共340	インターンシップⅢ	2			建築331	建築環境工学Ⅱ	2	○
	工共341	国際インターンシップⅠ	1			建築332	建築環境工学実験	1	選必
	工共342	インターンシップⅣ	2			建築334	建築環境設備設計	2	
	工共351	工業科教育法A	2			建築340	建築材料構造実験	1	選必
	工共352	工業科教育法B	2			建築350	構造設計Ⅱ	2	○
	工共401	卒業研究Ⅰ	3			建築351	耐震設計概論	2	
	工共402	卒業研究Ⅱ	3			建築352	建築基礎構造	2	
	工共403	卒業設計または卒業研究Ⅰ	3	○		建築491	建築学特別講義Ⅰ～V	1	
	工共404	卒業設計または卒業研究Ⅱ	3	○		建築492	建築学特別講義VI～X	2	
	工共405	セミナーⅠ	1			建築493	建築概論	2	○
	工共406	セミナーⅡ	1			建築492	建築技術者の倫理	1	○
	工共407	卒業研究	6			建築493	建築情報学	2	
	工共408	セミナー	2		工学 融合 科目				
	工共441	国際インターンシップⅡ	2						
	工共450	職業指導(工業)	2						
	工共451	情報科教育法A	2						
	工共452	情報科教育法B	2						
	工共453	教職総合演習(情報)	2						
	機械990	機械工学概論	2						
工学 融合 科目	電情991	電気電子工学基礎	2						
	建築991	居住建築概論	2						
	知能993	知能情報技術概論	2						
	エネ982	腐食防食工学	2						
	電気985	発電工学	2						
	社基984	減災計画	2						
	建築984	都市および地方計画	2						

別表(第5条関係)

工学共通科目  
②教育課程

分類	科目番号	授業科目名	単位数	週時間	受講年次	学期	授業内容	必修
工学共通科目	工共100	工学基礎演習	2	2-0	1	前	高校から大学への環境変化に伴う自己学習に対する意識改革に加えて、自主性・自律性を高め、専門分野の導入教育により大学で学ぶための素養を身に付ける。	
	工共111	工業数学Ⅰ	2	2-0	1	前	行列、連立一次方程式、行列式、ベクトル、固有値など	○
	工共112	工業数学Ⅱ	2	2-0	1・2	前又は後	1階常微分方程式、2階の同次線形微分方程式、非同次方程式など	○
	工共118	基礎数学Ⅰ	1	1-0	1	前	初等関数に関する補習や微分積分法の初步について演習を行う。専門科目を学ぶ上で必須となる数学の基礎を身につける。	
	工共119	基礎数学Ⅱ	1	1-0	1	後	1変数関数の微分積分学の基本的な計算演習を行う。授業では例題の解答、解説を行い、そのあと受講生各自で演習問題に取り組む。専門科目を学ぶ上で必須となる数学の基礎を身につける。	
	工共120	情報リテラシー	1	1-0	1	前	コンピュータの原理と構成、インターネットの仕組み、情報セキュリティ、基本情報処理技術など	○
	工共121	プログラミング基礎	2	2-0	1・2	前又は後	コンピュータープログラミングの基礎概念の概説、基本構文の習得、開発環境の構築など	○
	工共122	データサイエンス基礎	2	2-0	1・2	前又は後	データサイエンスの基礎概念、確率及び統計学など	○
	工共150	工学概論	2	2-0	1	後	機械、エネルギー環境、電気、電子、建築、社会基盤、情報分野における工学における基礎知識、技術、考え方を解説する。	
	工共211	工業数学Ⅲ	2	2-0	1・2	前又は後	フーリエ級数、フーリエ積分及び変換、偏微分方程式の解法など	
	工共212	工業数学IV	2	2-0	2	前又は後	複素数と複素平面、複素数の極形式、複素関数の微分、留数定理、実積分への応用など	
	工共221	プログラミング応用	2	2-0	1・2	前又は後	コンピュータープログラミングの活用事例や実践など	
	工共222	データサイエンス応用	2	2-0	1・2	前又は後	データの予測やグルーピング、パターン発見などのデータ分析手法、ビッグデータの活用事例など	
	工共300	技術者の倫理	2	2-0	1・3	前又は後	情報技術とセキュリティ、個人情報とプライバシー、知的所有権とコンテンツ、企業の社会的責任、技術的決定と社会的決定、ビッグデータとAIの倫理、ユニバーサルデザイン、情報モラル。	
	工共301	キャリアデザイン	2	2-0	3	前又は後	キャリア形成、技術者のキャリア、職業観協働とコミュニケーション・ビジョン共有、自律的行動と協調、コンセンサスと少数意見、コンセンサスとプロセス、自己理解と他者理解、企業活動とスタートアップ、自己表現と自己実現	
	工共302	エンジニアリングデザイン演習	2	2-0	3	後	班に分かれて協働で課題を設定しそれを解決する能力を養う。課題解決に向けて計画作成と中途の評価・改善を協働で行い、結果を発表する。	○
	工共323	技術英語基礎	2	2-0	3	前	科学技術分野における英語論文の構成要素の内、特に、writingとspeakingを能動的に表現する方法を学ぶ。	

分類	科目番号	授業科目名	単位数	週時間	受講年次	学期	授業内容	必修
工学共通科目	工共324	技術英語応用	2	2-0	3	後	科学技術分野における英語論文の構成要素の内、特に、Speech, Presentationを実践的に行う方法、clear and logicalな表現を運用する技術を学ぶ。	
	工共325	機械学習	2	2-0	2・3・4	前又は後	機械学習の基礎概念、必要なデータの前処理や機械学習の重要なアルゴリズム、予測や分類など	
	工共330	地域課題解決実践演習	2	2-0	3・4	後	沖縄の地域課題、課題発見、調査手法と分析手法およびその実践、解決策の立案と検討-網羅性、妥当性、実現可能性協働の実践	
	工共331	産業社会学原論Ⅰ	2	2-0	3・4	前	社会的技術者、芸術論、企業経営論、人生観、文明論、多面性、ケース学習	
	工共332	産業社会学原論Ⅱ	2	2-0	3・4	後	先駆的起業家、社会的役割、IT、農業、環境	
	工共334	国際協力論	2	2-0	3	前	主に開発途上段階にある大洋州、東南アジア地域等における、国際協力のあり方と現在実施している事例について学ぶ。講義は座学と国際協力の事例に基づいた実践(ワークショップ)による体験型の学びを重視する。	
	工共335	知的財産権	2	2-0	3・4	前又は後	知的財産権における一連の法律群全体を概観した上で、その中でも特に重要な特許法、実用新案法、著作権法、意匠法、商標法等の基礎について解説する。	
	工共336	品質管理	2	2-0	3・4	後	製品やサービス活動における因果関係を理解し、品質管理の概念・実務を管理図法、統計的手法、抜取検査法の講義・演習を通して解析や問題解決能力を養う。	
	工共337	経営工学概論	2	2-0	3・4	後	経営工学、管理事務、生産管理、IE技法、工程管理、工程分析、在庫管理、品質管理、FA化技術、システム信頼性、性能評価	
	工共338	インターンシップⅠ	1		2・3・4		官公庁および企業等における現場実習	
	工共339	インターンシップⅡ	1		2・3・4		官公庁および企業等における現場実習	
	工共340	インターンシップⅢ	2		2・3・4		官公庁および企業等における現場実習	
	工共341	国際インターンシップⅠ	1		3・4		企業・行政・研究機関・大学等において、英語等日本語以外を用いた国際的な業務や専門知識に関わる実習を行う。	
	工共342	インターンシップⅣ	2		2・3・4		官公庁および企業等における現場実習	
	工共351	工業科教育法A	2	2-0	3	後	教職課程、工業技術教育、工業高等学校教育、教育関連法令、カリキュラム編成、单元計画、学習指導案、授業設計、授業理論、進路指導	
	工共352	工業科教育法B	2	2-0	4	前	教職課程、工業技術教育、工業高等学校教育、教育評価法、教員研修、資格取得、教具製作	
	工共401	卒業研究Ⅰ	3	0-6	4	前又は後	教員の指導のもとに特定テーマや研究計画を設定して研究を行い、研究成果を発表する。	
	工共402	卒業研究Ⅱ	3	0-6	4	前又は後	教員の指導のもとに特定テーマや研究計画を設定して研究を行い、研究成果を発表する。	

分類	科目番号	授業科目名	単位数	週時間	受講年次	学期	授業内容	必修
工学共通科目	工共403	卒業設計または卒業研究Ⅰ	3	0-6	4	前又は後	建築学全般に関する理解を深める。設計実践、設計研究、調査研究または実験的研究および解析的研究に関する理解を深め、設計または研究を遂行する。	○
	工共404	卒業設計または卒業研究Ⅱ	3	0-6	4	前又は後	建築学全般に関する理解を深める。設計実践、設計研究、調査研究または実験的研究および解析的研究に関する理解を深め、設計または研究を遂行する。	○
	工共405	セミナーⅠ	1	1-0	3・4	前又は後	各コースの専門分野に関する論文講読および討論	
	工共406	セミナーⅡ	1	1-0	3・4	前又は後	各コースの専門分野に関する論文講読および討論	
	工共407	卒業研究	6	0-6	4	通年	教員の指導のもとに特定テーマや研究計画を設定して研究を行い、研究成果を発表する。	○
	工共408	セミナー	2	1-0	4	通年	各コースの専門分野に関する論文講読および討論	
	工共441	国際インターンシップⅡ	2		3・4		企業・行政・研究機関・大学等において、英語等日本語以外を用いた国際的な業務や専門知識に関わる実習を行う。	
	工共450	職業指導(工業)	2	2-0	4	前	進路指導、就職指導、自己実現、主体的職業選択能力、職業観、勤労觀、職業構造、産業社会、生涯教育、キャリア教育計画	
	工共451	情報科教育法A	2	2-0	3	後	教職課程、教科情報、授業設計、指導法、教育観、學習觀、學習指導要領、情報活用実践力、プレゼンテーション、評価方法、學習指導案、科学的理解、模擬授業	
	工共452	情報科教育法B	2	2-0	4	前	教職課程、教科情報、授業評価、生徒評価、ルーブリック、ポートフォリオ、模擬授業	
	工共453	教職総合演習(情報)	2	2-0	4	前	教職課程、地域社会、実践的活動、教員資質、教育現場、教育ボランティア、社会活動、連携授業	

別表(第5条関係)

建築学コース  
②教育課程

分類	科目番号	授業科目名	単位数	週時間	受講年次	学期	授業内容	必修
コース専門科目	建築104	確率及び統計	2	2-0	1・2	後	尺度と基本統計量、二項分布、ポアソン分布、一様分布、正規分布、T分布、X <sup>2</sup> 分布、点推計・区間推計、仮説検定、適合度検定・独立性検定、回帰分析	
	建築110	建築デザイン基礎	2	2-0	1	後	建築デザイン作業の過程で必要となる基礎的な作図法やその考え方について講義し、それらを実際の作業を通して身につける。	○
	建築120	住空間計画学	2	2-0	1	後	住宅計画、住生活論、集住空間の特性、コミュニティ施設について、風土や歴史性等を踏まえながら、住空間の計画の基本的考え方について講義する。	○
	建築150	建築構造力学 I	3	4-0	1	前	構造力学の基礎、力のつりあい、剛体の静力学、材料力学、断面の性質、応力とひずみ	○
	建築151	建築構造力学 II	3	4-0	1	後	直線部材の変形、直角変位図、仮想仕事の原理、静定構造物の変形、仮想仕事法について講義と演習を行う。	○
	建築200	測量学	2	2-0	2	前	距離・平板・トラバース・水準・スタジア測量、三角測量、測定値の誤差	
	建築202	フィールドセミナー I	1	1-0	2・3・4		建築学の最新の問題又は特定分野に関する演習	
	建築203	フィールドセミナー II	1	1-0	2・3・4		同上	
	建築211	建築設計製図 I	3	6-0	2	前	建築設計製図に関わる基本演習及び小規模建築物に関わる設計理念に基づく設計演習(住宅コピー、住宅など)	○
	建築212	建築史概論	2	2-0	2	後	日本及び西洋建築の空間的特質を、各時代を代表する具体的建築事例を通して時代背景や構造及び意匠的側面から解説	○
	建築213	建築設計製図 II	3	6-0	2	後	中規模建築物に関わる設計理念に基づく設計演習(文化施設、集住施設、宿泊施設など)	○
	建築215	建築計画	2	2-0	2	前	各種建築物の計画について、機能、空間、構造、構法、設備などのキーワードを用い、合理的根拠にもとづいた建築計画の要点を講義する。	○
	建築220	都市計画	2	2-0	2	前	都市の実態と課題、都市空間の目標の設定と実現の方法、土地利用と建築のコントロール、都市施設と市街地開発について講義する。	○
	建築230	建築環境工学 I	2	2-0	2	後	建築環境の概論、建築音響、日照と日射、建築光環境	○
	建築240	建築材料学	2	2-0	2	前	建物を構成する材料について、コンクリート材料を中心として、木材、ガラス、石材、鋼材について講義する。	○
	建築242	環境材料学	2	2-0	2	後	循環型社会構築に資するよう、建築材料の耐久性、リサイクルについて学び、さらに仕上材や機能付与材料について学ぶ。	○
	建築251	構造設計 I	2	2-0	2	後	鉄筋コンクリート構造の基本事項、はり・柱・スラブ・耐震壁などの力学性状、およびその許容応力度設計法について講義を行う。	○
	建築260	防災工学概論	2	2-0	2	後	構造設計法、安全性と信頼性、極値統計、地震・津波、強風、積雪、火災、都市防災	○

分類	科目番号	授業科目名	単位数	週時間	受講年次	学期	授業内容	必修
コース専門科目	建築300	建築生産	2	2-0	3	前	施工計画、各種建築工事の施工法	○
	建築301	建築法規	2	2-0	3	後	建築基準法、同施行令および都市計画法の概説	○
	建築310	建築意匠	2	2-0	3	前	今日の建造物の造形意匠を理解する上で最も基礎となる近代建築に関する意匠の諸相を中心に建築運動の主要な流れと作品の特色を講義	
	建築311	建築設計製図III	3	6-0	3	前	公共建築物に関わる設計理念に基づく設計演習(コミュニティ施設、複合施設など)	
	建築312	現代建築思潮	2	2-0	3	後	国内外の現代建築の動向に関して、トピックごとに重要なキーワードと理念を解説しながら、具体的な事例を通して講義を行う。	
	建築313	建築設計製図IV	3	6-0	3	後	大規模建築物に関わる設計理念に基づく設計演習(教育施設、都市関連施設、商業施設など)	
	建築320	居住地計画	2	2-0	3	前	居住地の歴史的形成過程と地域生活空間の課題、開発および改善計画について講義する。	
	建築321	都市デザイン演習	2	3-0	3	前	都市デザイン、地区デザイン、景観デザインに関する計画・設計の演習を行う。	
	建築322	都市および地方計画	2	2-0	3	隔年前期	都市および地方計画の調査、立案、実施に必要とされる法制度体系を理解し、実際の計画事例を学ぶ。	
	建築330	建築設備計画	2	2-0	3	前	電気設備、給排水・衛生設備、空気調和設備、防災設備、情報設備、保全・管理の基本的な考え方と事例	○
	建築331	建築環境工学II	2	2-0	3	前	建築の空調設計等の基礎となる熱環境及び換気や空気質維持のための空気環境に関する基礎的な知識とその実用への適用を理解する。	○
	建築332	建築環境工学実験	1	0-3	3	前	建築環境における熱や空気の流れ等の基礎的な現象を実験を通して理解する。	選必
	建築334	建築環境設備設計	2	2-0	3	後	建築環境工学及び建築設備の適正な応用に基づいて、高品質の建築環境を設計するための環境問題に対する解決策を考える。	
	建築340	建築材料構造実験	1	0-3	3	後	現代の建築・土木構造物に使用されている主な構造材料であるコンクリートや鉄鋼の基本的特性を、実験を通して理解する。	選必
	建築350	構造設計II	2	2-0	3	前	鉄骨造の許容応力度設計法、高力ボルト接合、溶接接合、木材の性質、在来軸組構法、壁量、集成材	○
	建築351	耐震設計概論	2	2-0	3	後	地震荷重と耐震設計法、耐震診断、耐震補強・補修法など耐震設計の基礎を紹介する。	
	建築352	建築基礎構造	2	2-0	3	後	土圧理論、山留及び地下壁に作用する土圧、直接基礎について学ぶ。	
	建築481	建築学特別講義I	1	1-0	2・3・4	前又は後	建築学コースに関する最新の問題又は特定分野に関する講義	
	建築482	建築学特別講義II	1	1-0	2・3・4	前又は後	"	
	建築483	建築学特別講義III	1	1-0	2・3・4	前又は後	"	

分類	科目番号	授業科目名	単位数	週時間	受講年次	学期	授業内容	必修
コース専門科目	建築484	建築学特別講義IV	1	1-0	2・3・4	前又は後	〃	
	建築485	建築学特別講義V	1	1-0	2・3・4	前又は後	〃	
	建築486	建築学特別講義VI	2	1-0	2・3・4	前又は後	〃	
	建築487	建築学特別講義VII	2	2-0	2・3・4	前又は後	〃	
	建築488	建築学特別講義VIII	2	2-0	2・3・4	前又は後	〃	
	建築489	建築学特別講義IX	2	2-0	2・3・4	前又は後	〃	
	建築490	建築学特別講義X	2	2-0	2・3・4	前又は後	〃	
	建築491	建築概論	2	2-0	1	前	建築学の概要に関する入門的な講義を行う。	○
	建築492	建築技術者の倫理	1	1-0	4	前	建築技術者に求められる倫理について、建築分野別の課題や事例を踏まえて講述する。	○
	建築493	建築情報学	2	2-0	3	後	建築学および工学に関連したデータ解析の基礎理論および各種数値解析手法の原理を講述する。また、Pythonを使った基礎的なプログラムを作成する。	

別表(第5条関係)

## 工学融合科目

## ②教育課程

分類	科目番号	授業科目名	単位数	週時間	受講年次	学期	授業内容
工学融合科目	機械990	機械工学概論	2	2-0	3・4	前又は後	機械工学、エネルギー工学に関する概説
	電情991	電気電子工学基礎	2	2-0	3・4	前又は後	電気工学、電子工学、情報通信工学に関する基礎について学ぶ
	建築991	居住建築概論	2	2-0	3・4	前又は後	住宅をはじめとする人間の居住を支える建築について、建築学に関わる幅広い視点から総合的に学ぶ。
	知能993	知能情報技術概論	2	2-0	3・4	前又は後	情報分野に関する基盤知識や最新トピックについて学ぶ。
	エネ982	腐食防食工学	2	2-0	3・4	前	材料表面性と表面処理、腐食、防食の理論と応用
	電気985	発電工学	2	2-0	3・4	後	水力発電、火力発電および原子力発電の原理・構成・特性、自然エネルギーの利用と発電方式
	社基984	減災計画	2	2-0	3・4	後	災害概論、リスクコミュニケーション、地域防災計画、地区防災計画、学校危機管理、防災教育、減災計画方法論
	建築984	都市および地方計画	2	2-0	3・4	隔年 前期	都市および地方計画の調査、立案、実施に必要とされる法制度体系を理解し、実際の計画事例を学ぶ

## 卒業要件（建築学コース）

共通教育科目									備 考	合計 (単位)		
基盤領域						教養領域 <sup>(注1)</sup>						
第一 外国語 (注2)	第二 外国語 (注1, 2)	データリ テラシー	アカデ ミック スキル	キャリア・ ダイバーシティ	健康運動	学問分野別教養	琉大特色 地域創生	グロー バル				
						人文社会 科学						
8単位(or英語 12単位)	4単位(or0 単位)		3 単位以上			12単位以上			31 単位以上	31 単位以上		
大学英語、 英語講読演 習中級を 含む英語	同一の 外国语	卒業要件に 含めない	物理学 I、 物理学実験	卒業要件に 含めない	2単位まで 卒業要件 に含む	指定科目なし  ※人文社会2単位以上、自然科学2単位以上、 琉大特色・地域創生2単位以上						

専門教育科目							備 考	合計 (単位)		
必修		選択必修	選択							
工学共通科目 (注3, 4)	コース専門科目	コース 専門科目 (注5)	工学共通 科目	コース 専門科目 (注6)	工学 融合科目 (注7)	自由科目 (注8)				
17単位	45単位	1単位以上	30単位以上				93 単位以上	93 単位以上		

合計 124  
単位以上

(注1) 琉球大学学則第58条により入学した外国人学生の場合には、琉球大学共通教育等履修規程第8条により次の特例を認める。

(1) 第二外国语を日本語科目で4単位まで読み替えることができる。

(2) 共通教育科目の教養領域のうち4単位まで、日本事情科目で読み替えることができる。

(注2) 外国語（第一外国语と第二外国语）の履修方法は、「第一外国语8単位以上かつ第二外国语4単位以上の計12単位以上」または、「第一外国语12単位以上」であること。

(注3) 「工業科教育法A」、「工業科教育法B」、「職業指導」の3科目については、卒業要件の単位には含めない。

(注4) 卒業設計または卒業研究Ⅰ、Ⅱを履修登録するためには、卒業要件を満たすために今後取得しなければならない単位数が、卒業設計または卒業研究Ⅰ、Ⅱを含めて合計24単位以下であること。

(注5) 建築環境工学実験、建築材料構造実験から1科目以上必ず履修しなければならない。

(注6) 「（全教412）教職実践演習（高）」については、専門教育科目（選択）のコース専門科目として卒業要件の単位に含めることができる。

(注7) 本コースが提供する工学融合科目は卒業要件の単位に含めない。工学融合科目は、4単位まで卒業要件の単位として含めることができる。

(注8) 専門教育科目における選択の自由科目（以後、自由科目）とは、共通教育科目における基盤領域のアカデミックスキル科目（以後、アカデミックスキル科目）、本コース以外の他コースの専門科目（以後、他コース専門科目）、本コースが認める他学部の専門科目（以後、他学部専門科目）のことを指す。アカデミックスキル科目、他コース専門科目、他学部専門科目の合計10単位までを自由科目として卒業要件の単位に含めることができる。ただし、アカデミックスキル科目で指定単位数を超えた単位については2単位まで、他学部専門科目については4単位まで自由科目として卒業要件の単位に含めることができる。

## GE プログラムとして修得すべき科目リスト

### 建築学コース(建築学プログラム)

	科目番号	科目名	単位数
必修 科目	工共 323	技術英語基礎	2
	工共 324	技術英語応用	2
	工共 334	国際協力論	2
指定 科目	科目番号	科目名	単位数
	建築 202	フィールドセミナー I	1
	建築 203	フィールドセミナー II	1
	建築 310	建築意匠	2
	建築 312	現代建築思潮	2
	建築 320	居住地計画	2
	建築 321	都市デザイン演習	2
	建築 322	都市及び地方計画	2
	建築 334	建築環境設備設計	2
	建築 351	耐震設計概論	2
	建築 352	建築基礎構造	2
	工共 338	インターンシップ I	1
	工共 339	インターンシップ II	1
	工共 340	インターンシップ III	2
	工共 341	国際インターンシップ I	1
	工共 342	インターンシップ IV	2
	工共 441	国際インターンシップ II	2
	※ESCM11030	インターンシップ I	1
	※ESCM12010	インターンシップ II	1
	※ESCM11040	インターンシップ III	2
	※ESCM12020	インターンシップ IV	2
	※ESCM11020	国際インターンシップ I	2
	※ESCM13010	国際インターンシップ II	2
備考)			
GE プログラムとしての学部において修得すべき科目は、上記に示す必修科目 6 単位と、指定科目の中から 2 単位以上、インターンシップ科目から 1 科目以上の計 9 単位以上である。			

※は大学院授業科目

2 単位以上

いずれか、  
1 科目以上